

2023/1/31 (火)

朝の礼拝

聖書 テサロニケの信徒への手紙 I 5章16-18節 (新約聖書379頁)

いつも喜んでいなさい。

絶えず祈りなさい。

どんなことにも感謝しなさい。

ひとりではない

「喜んでいなさい」と言うけど嬉しい時もあれば悲しい時もあります。「祈りなさい」と言うけど神様を忘れることもあればどう祈ったらいいのかわからないこともあります。「感謝しなさい」と言うけど支えくれる人を忘れ、神様が側にいるのに気づかないこともあります。

しかし喜んでいなさいの前に「いつも」とあります。神様はわたしたちが嬉しい時も悲しい時も、いつも共にいると言っています。たとえひとりぼっちでも神様が一緒にいてくださっていると信頼できることが「喜び」ではないでしょうか。

また祈りなさいの前に「絶えず」とあります。神様はあなたが祈る前からあなたに必要なものを知っていると言っています。だから神様がそれをすでに用意しているから諦めず、望みを抱き続けなさい。それが「祈り」ではないでしょうか。

そして感謝しなさいの前に「どんなことにも」とあります。神様はどんなに小さな存在をも愛しておられます。神様はどこまでもわたしたちを慈しみ、赦しておられます。そしてわたしたちが互いに愛し合えることが「感謝」ではないでしょうか。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、わたしたちの喜び、祈り、感謝はあなたが共におられ、わたしたちが互いに愛し合うことです。いま寒い中で困難な生活にある方々、特に停電など暖かく過ごすことのできない方々に必要なものが与えられますように祈ります。そして入学試験の季節となります。明日は英和女学院の高校入学試験の日です。どうかすべての受験生を守り、みこころに適う道が与えられますように導いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン